

▼別ショットの写真



撮影して  
さんとし  
6年生の  
に、新景  
校舎を背  
カピカピ  
ました。ピ  
日に完了し  
29年2月28  
始して平成  
築工事を開  
6月から増  
成28年

今月の表紙は、3月8日に竣工式を行った幸田小学校の新校舎です。幸田小学校は児童数が増加中で、将来的には児童数1100人、35クラスになると予測しており、平成28年

今月の表紙

みんなの  
広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ  
☎62-1111(内線334) FAX63-5139  
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp

幸田町少林寺拳法協会



幸田町の少林寺拳法は1982(昭和57)年に鷺田公民館で始まり、今年で35年になります。1991(平成3)年に町体育協会へ加盟し、幸田中学校の武道館を修練場所として使わせていただいています。週3日の修練を岩堀公民館(火・金曜)、幸田中武道館(日曜)で行っています。

少林寺拳法は喧嘩に勝つために修練するものではなく、自分を大切にしようにほかの人も同じように大切にして、明るく住みやすい人間社会を築き上げるための“人づくり”を目的としています。技術修練を通して強い自分を作ると共に、組手主

体の技術研鑽により自他共榮の精神を育みます。現在会員数は50人程で、小学生以下の少年部と、中学生以上の一般部(最高齢67歳)の2部制で修練に励んでいます。

毎年4月は美合の県青年の家で1泊2日の合宿、9月に幸田町少林寺拳法大会、11月にレク・スポーツ大会を実施するなど、道場以外での活動も取り入れています。会員募集中です。いつでも見学、体験可能です。

問合せ

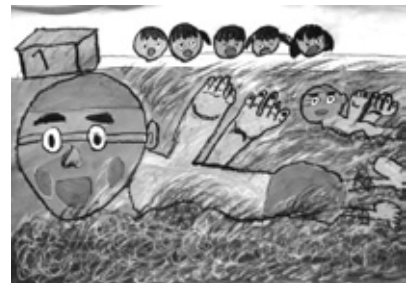
会長 吉岡 ☎090-9910-0026  
理事長 須原 ☎090-6767-3593

サークル紹介

この指  
とーまれ  
159

みんなの作品展!

「幸田町児童・生徒作品展」からのセレクトです。



きたじま なおや  
荻谷小4年 北島 尚耶 くん



まさ はるひ  
坂崎小5年 牧 遥陽 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今月の記念日

4月20日は「ジャムの日」

ジャムの製造会社などで構成する日本ジャム工業組合が制定しました。1910(明治43)年4月20日に、長野県北佐久郡三岡村(現在の小諸市)の塩川伊一郎氏が「いちごジャム」を明治天皇に献上したとの記録があります。日本のジャムの草創期における功績を称えるとともに、ジャム産業の発展に貢献したとの考えから、この日とされました。

パン食に欠かせないジャム。そもそもジャム類とは果実などを糖類などとともにゼリー化するまで加熱したもので、ジャム、マーマレード、ゼリーの3種類に分けられます。いずれもその保存性と素材の風味、色、香りを生かした身近な食品として、世界中で作られています。

同組合のサイトでは、果実の香りや風味が詰まったジャムを素材として用いた料理やデザートのレシピを紹介。ジャムの定番を手近な材料を使ってさまざまな素材と組み合わせた簡単メニューも掲載しています。さらに手作りジャムとして、いちごジャムとりんごジャムの作り方を紹介しています。

\* 参考資料：日本ジャム工業組合 <http://www.jca-can.or.jp/~njkk/>



# 青春トークリレー

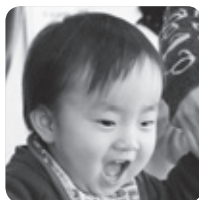
△△第289走者△△

あいかわ てつや  
**相川 哲也** さん

久保田区在住 20歳 職業 大学生  
血液型 B型 身長 172cm  
好きなタイプ 明るい人  
好きな芸能人 Mr.Children

僕は今、経済学や経営学を中心に大学で学んでいます。大学での勉強は初めて知ることばかりです。経済学や経営学は何となく知っているつもりだったが、実は奥が深く、複雑な内容であることを教えてくれるもので、とても興味深いです。またいろんな分野に携わる学生や専門家の先生、大学にいながら実業界で活躍されている人と直接会う機会にも恵まれ、色々な出会いから多くの刺激を受けています。

大学での新しい発見や出会いがある一方で、生まれた時から慣れ親しんできた幸田町はやはり居心地が良いです。これからも幸田町が穏やかな雰囲気であり続けることを願っています。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
企画政策課までご連絡ください。  
本人のご家族にお渡しできます。



## 環境だより VOL.36

### 食品ロスを減らそう！

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約632万トンにも上ります。その半分の約302万トンが家庭で発生しています。家庭から出される生ごみの中には、手つかずの食品が2割もあり、さらにそのうちの4分の1は賞味期限前にもかかわらず捨てられているものです。

幸田町でも平成28年に行った、燃やすごみの組成分析(\*)では、調査したごみの約46.3%が生ごみであることが分かりました。そのうちの約9%が未開封のまま捨てられていました。食べ物は食べきれぬ分を購入し、食品ロスを減らしていきましょう。食品ロスを減らすことは食べ物の廃棄量を減らすだけでなく、家計面にとってもメリットになります。ぜひ実践していきましょう！

\*組成分析とは指定袋で出された燃やすごみにどんなものが入っているかを調査するものです。

参考資料：農林水産省「平成25年度推計」



食べものに、  
もったいないを、  
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

←食品ロス削減  
国民運動  
キャラクター  
「ろすのん」

問合せ 環境課 ごみ対策グループ(内線273)

幸田しだれ桜まつり 4月1日～10日

職場の後輩Kくんが「彼女と遠距離になることが決まり、号泣されました」と、困った素振りを見つづも顔がにやけてるのを見逃さなかった編集者のKです。  
3月の卒業シーズンを終えて、新たな出会いがある4月の入学シーズンを迎えました。今年是我が母校、南部中学校の卒業式にお邪魔してきました。楽しかったこと、つらかったこと、いろんな思い出がよみがえってきて溢れ出す涙が止まらない、そんな青春の1ページを見せていただきました。小学校から高校まで一度も卒業式で涙が出てこなかった自分にはいい思い出がひとつもない。そんなことはないはずですが(汗)。卒業式と入学式の様子は、来月5月号の広報でお伝えする予定です。もう少しお待ちください。  
さて、4月が近付くと広報担当として気になってくるのは、今年のしだれ桜の開花時期です。ほかの桜と比べて開花時期が遅いのですが、4月の初めか、もう少し遅いのかと、3月末ごろから幸田文化公園に通って桜の開花状況をチェックしています。町のホームページやフェイスブックでも開花状況をお伝えしていきますので活用ください。(K)

ちょっと  
編集者の  
ひらひら